

## 令和4年度第1回千葉県慢性腎臓病（CKD）重症化予防対策部会（R4.7.14開催） 議事要旨

### 1 CKD対策協力医の養成・活用の促進について

- 令和4年6月時点で、千葉県では専門医197名、CKD対策協力医213名が登録されている。いずれも登録は増加しているが、地域偏在があるため、市町村ごとや医師会圏域ごとの分布状況を確認し、必要な地域への働きかけを行っていく。
- CKD対策協力医のモチベーション維持が重要であることから、7月21日に千葉県医師会主催の研修会を開催する。  
また、市町村等保険者からCKD対策協力医への受診勧奨が円滑に行われるよう、取組状況調査やサポートを行っていく。
- CKD対策協力医から腎臓専門医へ紹介する際の紹介状様式の作成について検討する。

### 2 検査のワンチェックオーダーについて

糖尿病性腎症及びCKD診療を効果的に進めるために、診察に必要不可欠な検査項目を円滑にオーダーが可能となるよう医療機関が検査会社へ依頼する時の文書案を千葉県CKD対策協力医へ送付することについて、千葉県医師会長に相談し了解をいただいた。

今後、8月に開催する「千葉県糖尿病性腎症重症化予防対策推進検討会」で了承をもらい通知していく方向性となった。

### 3 県民への普及啓発

- 普及啓発のための「リーフレット」「動画」「千葉県ホームページでのQ&Aコーナー、腎臓専門医及び対策協力医のリスト掲載」等資材については、充実してきているので、今年度はこれらの資材を効果的に活用してもらえるよう周知に取り組んでいく。
- 健診時や尿検査で異常があった時に、リーフレット等作成した資材を活用できるとよい。
- 広く啓発していくために、各市町村自治会で活用している回覧板の利用について提案があった。

### 4 その他

- 県薬剤師会におけるCKDシール活用の進捗と今後の活用促進について  
県薬剤師会で、令和4年2月に実施したアンケート調査では回答数が少なく、CKDシールの貼付数は把握が困難であった。  
9月に、CKDシール活用に関する薬局対象の研修会を開催予定であるが、今後は、モデル地域を選定して地域薬剤師会において研修会の開催をも検討している。  
また、病院等医療機関と調剤薬局との連携がシールを普及する上で必要である。
- CKD対策協力医の更新方法については、前回と同様のWebを活用した登録シス

テムを考えているが、現時点での評価をしてよりよいものにしていくことも必要である。

○ 国保以外の保険者への働きかけについて

当部会委員が参加していて各社会保険者が参加している社会保険診療関係の勉強会時などを活用するなど周知していきたい。

○ かかりつけ医等開業医での栄養指導について

市原地域では、栄養士会のメンバーが構成員となっている栄養ネットワークがNPOとなり、開業医において栄養士による栄養指導が行えるよう体制を推進しており、県全体にひろがっていくとよい。

○ 腎臓学会でのCKD対策の取組について

- ・ 一過性ではなく継続的にCKDについて周知していく、広告料的なものに取組んでいくとよい。
- ・ CKDについての認識を高めていくためには、子どもたちを対象にしていくとよい。小・中学校、高校等学校との学校分野との連携が必要である。